



## 第4回 仮称) 地域・世代間交流部会

### 【摘録】



日時：平成25年1月10日(木)18:15~20:15

場所：宮前区役所4階第3会議室

【進行：大槻部会長】

#### 1 出席確認

出席：大槻、太田、岡、佐藤、田浪、直本、平井、宮崎

欠席：豊島、山下

#### 2 前回会議摘録の確認

別紙配布資料に基づき確認

#### 3 具体的な課題解決への提案を検討

川崎市の自治会加入勧誘資料について 別紙配付資料に基づき説明

大槻部会長作成提案資料について 別紙配布資料に基づき説明

その後意見交換→別紙のとおり意見集約

#### 4 部会名

未決定 検討課題の絞り込みがまだ充分でないため

#### 5 区民会議フォーラムについて

別紙配布資料に基づき、案を確認

各自確認の上、意見等があれば事務局まで別途寄せることとした。

#### 6 今後の日程

全体会 2月13日(水) 18:15~ 区役所4階大会議室

第5回 3月8日(金) 18:15~ 区役所4階第1会議室

##### ■宿題

・部会名称案

# テーマ：地域・世代間の交流

【総論】 地域・世代間の交流の鍵は、既存団体の分野を超えた連携や、新たな人材が入ってきやすい雰囲気づくりにありそうだ。交流を通じて心の教育を行うことが重要であり、学校以外の場を模索してみてもどうか。

## 【キーワード】

心の教育、コーディネーター育成、新たな人材確保、既存団体の連携

## 地域、世代間の交流に向けたポイント、課題の整理

### 心の教育

#### 学校以外の場

- 交流を通じた“心の教育”が重要。学校以外の場が鍵となる。(太田)
- 教員の現状などを考えると、学校ベースで新しい取り組みは難しそう。(平井)
- NPO カタリバでは若い学生たちが先輩後輩を超えて人生を語り合う場を企画している。(大槻)

#### 場の具体案

- 地域教育会議、教育を語るつどい(大槻)
- 子育てフェスタ(太田)
- わくわくプラザ…現状では取り組みや運営状況にかなり地域差がある(平井)
- 町内会館をもっと活用できるのではないかと(太田)
- 例えば、子育て世代が先輩親と話せる場をもっと創出したい(大槻)

### 既存団体の連携

#### 連携への鍵

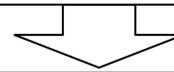
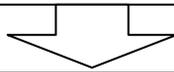
- 既存団体がいかに分野や領域を越えて連携できるか(平井、直本)
- 行政だけでなく、市民活動団体も得意分野から外に出ようとしなないことがある(事務局)
- 様々な団体がいかに地域に開いていくかが鍵(事務局)

#### コーディネーター育成

- 団体の連携を促すコーディネーターの育成につみるのではないかと(直本、平井、大槻、宮崎)
- 育成講座を受講したが、地域の現場につながる道筋が不十分と感じた(岡)

### 新たな人材獲得への課題

- 新たな人の参加を部会の第一ターゲットとしてはどうか(田浪)
- 新たな人の興味を惹くしかけが必要だが、なかなか難しい(太田)
- 活動が内輪となってしまう、新しい人が入りくい雰囲気できてしまっていることがある。(太田)
- 特に共稼ぎ家庭では、地域に出て行く時間がない。地域に出るきっかけがない(大槻)



### 区民会議からの提案のあり方

- 地域活動の連携の好事例をモデルケースとして広く紹介してはどうか(岡・平井・太田)
- モデルケースは発表して終わりにならないよう注意が必要だ(大槻・平井)
- 新たな組織やしくみをつくるのではなく、既存の活動や組織を活かしたリニューアル(宮崎)
- 長期的視野が必要(岡) 段階的な整理が必要(大槻)
- 任期を跨いでテーマや課題を引き継ぐ方法と、“今”の課題を取り上げる方法の両方必要だ(直本)
- 既存の活動や連携をやりやすくするちょっとした提案をいくつかまとめる形も良い(田浪)  
(区民会議の提案を受け、子育て団体が区内施設の予約をとりやすくなったのはすごく大きかった)